



anicom Integrated Report 2025

アニコム ホールディングス 統合報告書 2025

どうぶつの未来のために



アニコムグループ理念体系

グループ理念体系は、経営の最上位概念であり、「パーパス（存在意義）、ビジョン（経営理念）、ミッション（企業使命）、クレド（行動指針）」から構成されています。

グループ理念体系や理念のもと、中期経営計画をはじめとした経営戦略を実行し、経済的価値と社会的価値の創造を実現してまいります。

パーパス（存在意義）

世界中に「無償の愛」を伝え、
平和を取り戻し、維持発展させる。

ビジョン（経営理念）

ani + communication = ∞
(命) (相互理解) (無限大)

アニコムグループは、
それぞれの命が持つ個性の違いを互いに尊重しあい、
分業協力することで、世界中に「ありがとう」を拡大します。

ミッション（企業使命）

- ① 戦争抑止、平和の回復・維持発展に資する行動をペット業界として行う使命
- ② 社会発展とペット業界発展が同調したサステナブルな業界へ変革させる使命
- ③ 高齢者・障がい者・子ども・社会をサポートする使命

クレド（行動指針）

1. オープン志向

オープンで、「対話のできる法人」を目指します。組織が大きくなっても、お客様やステークホルダーの皆様の声が、法人のすみずみまで届くよう努力し、お客様やステークホルダーの皆様から「見える」「話せる」と実感していただける「対話のできる法人グループ」を目指します。

2. マーケットアウト志向

常にお客様の視点に立って、新しい価値の創造に努めます。常にお客様の視点に立ち、お客様の求めるサービスを創り出す、マーケットアウト(お客様の真のニーズにお応えすること)を意識した経営を徹底し、お客様の願いを実現するとともに、新しい価値を創造することに努めます。

3. ロールプレイング志向

個々に与えられた役割(ロール)を最高に演じる(プレイング)事で、個人と組織の飛躍的成長を促進します。個々と組織の役割を明確にし、その役割を役者のごとく最高に演じることで、何事にも果敢に挑戦し続け、常に新たなスキルを吸収し、飛躍的な成長を促進させる経営を実践します。



CONTENTS

アニコムの使命

- 5 アニコムが目指すもの
- 7 トップメッセージ

①企業価値創出戦略

- 11 生物界最大の謎について
- 13 背景事業
- 15 統計的事実と原因仮説
- 17 アニコムの歩み
- 19 アニコムの事業展開
- 21 財務ハイライト
- 23 価値創造プロセス
- 25 ペット保険業界における当社のポジショニング
- 29 損害保険事業
- 30 資産運用

②具体的戦略

- 31 ステークホルダーリレーション
- 33 中期経営計画
- 37 口腔ケア戦略
- 39 腸内ケア戦略
- 41 資本政策
- 43 人的資本
- 47 サステナビリティ経営の推進
- 49 動物の尊厳保持
- 51 アニマルウェルフェアの推進
- 52 人権尊重
- 53 気候変動への取り組み

③コーポレート・ガバナンス

- 55 役員一覧
- 57 社外取締役メッセージ
- 59 コーポレート・ガバナンスの状況
- 61 取締役会の実効性
- 63 内部統制システムの構築
- 65 コンプライアンスの推進
- 67 グループのリスク管理体制

④コーポレート・データ

- 69 アニコムグループの概要



編集方針

編集にあたってはIFRS財団「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省「価値協創ガイダンス」を参照し、当社の価値創造プロセスやビジネスモデルを通じてステークホルダーに提供する経済的・社会的価値をわかりやすく解説しています。また、保険業法第271条の25および同施行規則第210条の10の2にもとづいて作成したディスクロージャー資料も兼ねています。

アニコムの使命

「ずっと一緒にいたい」。
どうぶつと暮らすすべての人が持つ
その願いを、かなえていくこと。

アニコムグループでは、
保険・医療に関するビッグデータの分析による疾病発症原因を探求し、
予防を推進することで、健康寿命の延伸を目指しています。
私たちは、「大切な存在とできるだけ長く健康に暮らしたい」
という想いに応えるために、科学の力で
“早過ぎる「さよなら」”をなくす未来を実現します。



アニコムが目指すもの

予防型保険の実現

当社グループは、「入って健康になる保険」という新たな保険価値の提供を目指し、予防型サービスの強化に取り組んでいます。これは、保険の本質的な価値である「安心の提供」に加え、保険加入を通じて健康状態の維持・向上を図るものであり、結果として保険金支払の抑制につながることで、引受収益の構造的転換を可能にします。

特に、ペット保険市場においては、独自の予防型サービスを通じた差別化戦略を進めています。予防ビジネスにおける課題のひとつは、「病気は可視化できるが、健康は見えない」という点にあります。これに対し、当社グループは腸内細菌叢検査を活用し、「免疫＝健康度」を可視化することにより、飼い主の健康管理への意識向上と、行動変容を促すモチベーションを創出し、予防的な介入を可能にします。

先進医療の開拓と知財化

次世代の先進医療技術として注目される「ロボット手術」や、幹細胞を用いた再生医療について、他に先駆けて薬事承認を実現するとともに、技術の知財化を推進し、動物医療の発展に貢献し、高度医療の標準化を図ることで、医療費のインフレ抑制にも寄与します。

当社グループが保有する動物医療のビッグデータと、ヒト分野における先進的な医療知見を組み合わせることで、診断技術の高度化や新たな治療法の開発を加速させます。

さらに、AIを活用した診断支援やロボット手術への積極的な投資を通じて、高度医療に関する知的財産を確保し、医療の質の向上とともに、医療費の標準化・適正化を実現します。



TOP MESSAGE

最新技術と AI を活用した 健康状態の可視化と予防医療により 大切なペットの健康と命を支え続けます。

アニコム ホールディングス株式会社
代表取締役

小森 伸昭

社会の発達で明確になったアニコムの存在意義

アニコムグループはおかげさまで創業25周年を迎えました。四半世紀にわたる挑戦の中で、私たちがたどり着いたのは「アニコムとは何のために存在しているのか」という根源的な問いでした。

正直、創業当初は「このビジネスが続けられるのか」と不安の連続でした。ペットビジネスは自動車産業や食品産業、医療、金融などのいわゆる基幹産業ではなく、戦争や自然災害、経済危機が起きれば最初に切り捨てられる趣味やぜいたく品と見なされていたからです。

ところが、近年状況が変化してきました。東日本大震災やウクライナ危機でも、人は命を懸けてペットを守ろうとしました。「避難所にペットを連れて行けないのであれば、避難しない」「この子がいなければ生き延びても意味がない」と言い始めたのです。飼い主たちが見せた言動は、ペッ

トが大切な家族であり自分の存在意義であることを示していました。

これには、現代社会の大きな構造変化が反映されていると考えています。それは文明の進化が生み出した「孤独」という新しい社会課題です。コンビニの普及、物流革命、ITの発達によるリモートワーク、人工知能（AI）の登場など、人はもはや誰とも関わらずに生活できるようになりました。しかしながら、人間関係の煩わしさから解放される一方で、同時に「誰かに必要とされる喜び」という自己承認の源泉を失ってしまいました。

人は本来、他者との関わりによって存在意義を認識し、心の安定を保ってきた生き物です。その関係が希薄になることで、社会全体に静かな孤独がまん延しています。英国や日本で、孤独担当大臣が登場したのは、象徴的な出来事でした。



家族であるミーアキャットの「みーたん」と

たのが、3つの“謎”です。1つ目が若齢期に下痢や嘔吐といった軽い症状で亡くなるケース。2つ目がヒトであれば中高齢期に発症するような慢性腎臓病や心疾患が若齢期に発症して亡くなるケース。そして、3つ目が極めて若齢でがんに侵され亡くなるケース。これらは、偶然でも宿命でもなく獲得免疫の不全、つまり「免疫力の偏り」によるものだと、私たちは考えました。

その鍵を握るのが「腸内細菌叢の多様性」です。かつて屋外で飼われたり、自然界で暮らしていた犬や猫は、土を舐め、虫を追い、様々な菌と触れ合いながら、自然に免疫を獲得していました。しかしながら、現代のペットは、清潔な室内で、毎日同じドライフードを食べ、極めて限定的な環境の中で生きています。これは一見、衛生的に思えますが、実は様々な菌に触れる機会を奪っているのです。

その結果、免疫バランスが崩れ、若くして重い疾患に罹るリスクが高まると考えています。私たちは、アニコムグループが保有する業界最大規模の医療データベースを使って、この仮説を検証し、腸内細菌叢の多様性と疾病発症率に明確な相関関係があることを確認しました。

こうした気づきから生まれたのが、「7Days Food」です。1週間のうちに様々な食材をローテーションして与えることで、免疫に刺激を与え、自然に近い環境を食事から取り戻す。この考え方は、「免疫ケア」という視点に立った、全く新しいアプローチです。

さらに、近年は「口腔ケア」にも注力しています。ヒトと同様にペットにおいても歯周病や口腔内の炎症は、全身の健康に大きな影響を与えます。歯周病菌が血流を介して心臓や腎臓にダメージを与えるため、日々の歯磨きや口腔環境のモニタリングがペットの健康寿命を伸ばすために非常に重要であると考えています。

私たちは、発症した疾患を治療することと共に、より予防に重点を置きたいと考えています。予防は一朝一夕では成り立ちません。日々の小さな習慣の積み重ねにより、ペットの命を守ることができるのです。

アニコムグループは、こうした予防の視点から、飼い主とペットが共に健康を育む社会を目指し、様々な取組みを行っています。そういった予防を中核に据えた取組みをご

この孤独を埋めてくれる存在こそがペットなのです。ペットは、文明が進化するほど逆説的にその存在意義が高まってきました。彼・彼女らは1万年以上人間と共に暮らし、互いに愛し合う存在になりました。ペットは無条件に飼い主を求め、飼い主もまた彼・彼女らに支えられています。私たちは「きみが、心の発電所」というキャッチフレーズを使っています。現代社会の中で不足する「心のエネルギー」を充電してくれるのがペットなのです。

ペットの健康寿命を延ばす科学的アプローチ

「いつまでもずっと一緒に暮らしたい」。この飼い主の切なる願いを少しでも叶えるには、ペットが健康で長生きすることが何より重要です。そのため、私たちは「早すぎる別れ」の原因を徹底的に分析しました。そしてたどり着い

評価いただき、アニコム損害保険株式会社は「入って健康になる保険」として2024年にグッドデザイン賞を受賞することができました。

AIによる先端医療で アニコムグループは第三フェーズへ

予防対策や免疫ケアを推し進める中で、アニコムグループは「守る医療」から「攻める医療」への転換も視野に入れています。言葉が話せないどうぶつたちの健康を早期に察知し、的確な治療に繋げるために、AIや先進技術を積極的に活用しています。

そのひとつが、「笑顔AI」という、どうぶつわずかな表情の変化から、体調の異変を読み取る技術です。例えば、犬は28の顔面筋を持ちますが、微細な動きから笑顔スコアや痛みスコアが計測可能になりました。これは、飼い主の「何かいつもと違う」といった感覚を読み取り、疾患の早期発見に繋げるものです。

実際にスコアが低いと歯周病・皮膚炎・行動異常のリスクが高まる傾向も明らかになっています。これを家庭で常時計測することができれば「予兆医療」が可能になります。

また、2025年秋に稼働する『JARVISどうぶつ医療センター Tokyo (以下、「JARVIS Tokyo」)』では世界初の挑戦を始めます。その最大の武器は「手術AI」で、外科獣医師の高難度微細手技をセンシングし、AI学習させて標準化するプロジェクトです。ヒト医療で行われている手術においても到達していない匠の技の数値化に、獣医療の分野で挑みたいと考えています。

JARVIS Tokyoでは、手術支援ロボットに加え、再生医療や難治性疾患への挑戦など、多角的な医療を提供していきます。JARVIS Tokyoで行われるのは単なる“最先端医療”ではありません。私たちが大切にしたいと考えていることは、「感情に寄り添う医療」です。

ペットと飼い主にとって医療とは単なる技術ではなく希望そのものです。その希望に応えるために、アニコムグループは「科学」と「情緒」の両輪で未来を描きたいと考えています。さらに、医療と予防の融合を図るために、保険に加入するだけで自然と健康意識が高まり、日々の生活に予

防行動が組み込まれるような仕組みも整備しています。業界最大のデータベースを活用したサービス・商品の浸透によるエコシステムを構築し、健康スコアの提示や食事・腸内環境のアドバイス等を通じ、飼い主が能動的に健康管理を行うようになる。そのような社会の実現を目指しています。

アニコムグループは、今まさに第二フェーズ（免疫の可視化、免疫ケアの推進等）から第三フェーズ（医療革新等）へ移行しようとしている最中です。アニコムグループが目指す未来の医療は、社会にとって新しい“常識”の創造です。ペットの健康と命を支えることは、飼い主の心を守ることにも繋がると考えています。その信念のもと、私たちは前例のない取り組みに挑戦し続けます。

最後に、皆様への感謝を改めて申し上げますとともに、今後もアニコムグループの理念と挑戦にご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。「世界一かわいい発電所」であるペットという小さな命が、人の心を変え社会を変えていく——その大きな可能性を信じて、アニコムグループはこれからも前進を続けてまいります。

